



こんにちは!! やまがたむら



議会です

発行：長野県山形村議会（代表）三澤一男

編集：議会広報編集特別委員会



春爛漫 心ウキウキ！ ドキドキ？（令和3年4月6日）



●第1回 議会定例会 2
コロナワクチン予防接種始まる

●一般質問の要約 4～7
●キャッチボール 8

コロナワクチン予防接種始まる

令和3年 第1回議会定例会

第1回定例会を3月1日に開会し、11日まで11日間開催した。
承認1件・議案24件をそれぞれ審議のうえ、承認・可決した。
一般質問は、コロナ禍の中で、時間を短縮し、3月9日に10人が登壇し、村政全般
について質問を行なった。



承認

- ◆令和2年度山形村一般会計補正予算（第7号）の専決処分承認を求めることについて

議案

- ◆松本市・山形村・朝日村中学校組合規約の変更について
- ◆松塩地区広域施設組合規約の変更について
- ◆山形村辺地総合整備計画の策定について
- ◆山形村道路線の認定について
- ◆山形村太陽光発電施設の設置及び維持管理等に関する条例の制定について
- ◆山形村介護保険条例の一部を改正する条例について
- ◆山形村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ◆山形村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介

護予防のための効果的な支援の方向に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

- ◆山形村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ◆山形村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ◆山形村保健福祉センター施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- ◆令和2年度山形村一般会計補正予算（第8号）
- ◆令和2年度山形村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- ◆令和2年度山形村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ◆令和2年度山形村介護保険特別会計補正予算

算（第4号）

- ◆令和2年度山形村清水高原簡易水道特別会計補正予算（第3号）
- ◆令和2年度下水道事業会計補正予算（第1号）
- ◆令和3年度山形村一般会計予算
- ◆令和3年度山形村国民健康保険特別会計予算
- ◆令和3年度山形村後期高齢者医療特別会計予算

同意

- ◆令和3年度山形村水道事業会計予算
 - ◆令和3年度山形村下水道事業会計予算
 - ◆令和3年度山形村水道事業会計予算
 - ◆令和3年度山形村下水道事業会計予算
- 固定資産評価委員会委員の選任につき同意を求めることについて

中大池 平 沢 隆 一 氏

諮問

人権擁護委員候補者の推薦について

下竹田 山 中 秀 樹 氏

追加同意

山形村副村長の選任につき同意を求めることについて

上大池 赤 羽 孝 之 氏

令和3年度一般会計予算

34億7千7百万円

骨格予算のため

5.3%減額となった

令和3年度骨格予算の中から

注目した予算

総務費

☆気象情報解析委託料・村議会議員選挙、参議院選挙、衆議院選挙のための費用

民生費

☆ふれあい児童館トイレ改修工事（和から洋へ）

新型コロナウイルスワクチン接種費用

衛生費

☆廃乾電池及びライター類収集委託料

4月・8月・12月の年3回収集

農林水産業費

☆唐沢地区畑かん更新事業実施計画策定業務

費

土木費

☆橋梁定期点検及び長寿命化計画策定委託料

消防費

☆トランシーバー購入費（各分団3台）

教育費

☆鉢盛中学校維持経営費（山形負担59・39%）

歳出

| 民生費 | |
|------------|-------|
| 10億5,872万円 | 30.5% |
| 総務費 | |
| 5億6,909万円 | 16.5% |
| 衛生費 | |
| 4億123万円 | 11.5% |
| 土木費 | |
| 3億5,339万円 | 10.2% |
| 教育費 | |
| 3億2,811万円 | 9.4% |
| 公債費 | |
| 3億1,348万円 | 9.0% |
| 農林水産業費 | |
| 2億28万円 | 5.8% |
| 消防費 | |
| 1億3,281万円 | 3.8% |
| その他 | |
| 1億1,989万円 | 3.3% |

歳入

| 地方交付税 | |
|------------|-------|
| 12億5,183万円 | 35.9% |
| 村税 | |
| 9億531万円 | 26.0% |
| 国・県支出金 | |
| 5億3,261万円 | 15.3% |
| 村債 | |
| 1億9,650万円 | 5.7% |
| その他 | |
| 5億9,075万円 | 17.1% |

| | |
|--------------|---------------------------|
| 国民健康保険特別会計 | 10億2,780万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 8,312万円 |
| 介護保険特別会計 | 7億766万円 |
| 清水高原簡易水道特別会計 | 1,669万円 |
| 上水道事業会計 | 給水戸数 3,260戸 2億2,312万円 |
| 下水道事業会計 | 水洗化人口 8,640人 4億2,430万円 |

一般質問

議員10人が 村政を問う

一般質問は3月9日に行なわれ議員10人が村政課題をただした。感染防止の観点から40分に短縮し一人当たりの質疑時間をフ

ル活用しながら、コロナワクチン接種の対応や人口対策と行政改革の取り組み等の課題について議論が展開された。

村長1期目の総括は

村長 自己採点70点位



福澤 倫 議員

Q 村長として1期目の総括と2期目の抱負について。

A 公約で、できたこと・できなかったこと、また、思うようにいかなかったことなど勘案すると、70点位だと思ふ。

2期目に向う抱負は、人口減少を最小限に食い止め、もう一度人口増加の村を目指す。また、全ての事務事業に行政評価を活用して、費用対効果など事務事業の廃止や見直しを検討する。

Q 生活困窮者に対する行政としての施策について。

A まいさば東筑との連絡会の中で、コロナ関連の相談は増えているとの報告は受けているが、村では、把握していない。ひとり親世帯も、把握していない。

老人世帯については、見守りを民生・児童委員にお願いしている。

社会福祉協議会で昨年暮れに行なった、生活困窮者に対するお米等の緊急支援については、社協ならではの地域に密着した支援を行なっていたいただき感謝している。また、社協に食品を寄付される村民の方々にも深く感謝を申し上げる。

Q コロナのワクチン接種について。

A 村では、65歳以上の高齢者から行ない、保健福祉センターで集団接種を4月以降にワクチンが供給された段階で、できる限り迅速に開始していく予定だ。

個別接種については行なわず、基礎疾患のある方は、事前にかかりつけ医に接種が可能か相談をしていただいでから接種をしていたり、だくように案内をする予定。

今後、ワクチンの種類が変更など状況が変化した場合には、医療機関の理解を得ながら個別接種も検討していく予定。

今後の観光事業での朝日村との連携は

村長 近隣市村と連携しながら一つの産業としての観光の振興を目指していきたい



小林 幸司 議員

Q わが村の観光地や観光資源は何だと考えるか。

A 村を代表する観光地は、一般的には唐沢そば集落から清水高原だと考える。観光資源は清水寺や村内に点在する道祖神やおそば屋さん、最近では観光農園としてブルーベリーやリンゴなどの収穫体験が観光資源として主なものだと考える。

Q 令和4年度からの観光協会の独立の経過と目的は。

A 平成14年度から商工会へ委託する形で今日に至っている。今回の独立業務形態への移行は「委託の見直しと業務の整理」である。近年の観光客ニーズの多様化により、既存の村独自の催しのほか新たな観光連携への対応など、業務量が増加・多様化して、商工会職員の業務のウエイトが本来業務を圧迫することが懸念されているため。

Q スカイランドきよみずや登山道・展望台周辺の整備計画は。

A スカイランド周辺は指定管理者ドリムホテル側からの提言を聞きながらの整備となり、登山道や展望台については大規模な整備は計画していないが、現状維持での修理は行なっていく。

「新ふるさと伝承館(仮称)」をふるさと常会づくり役に役立つものにしたら如何か

長 地域への誇りと愛着を高める、「ふるさとづくり」教育に役立つ「新しい施設」になると考えている



百瀬昇一議員

Q 「新ふるさと伝承館(仮称)」の建設資金等はどのようにするか。

A 施設の整備内容の方向性は決まっていないが、将来の財政負担等も考慮し、建設費のみならずランニングコストも一緒に考え施設整備を進め、活用できる特定財源があれば、積極的に活用を進めたい。

Q 地方創生事業のプログラムに、集落支援員の活用がある。また、地域コミュニティに関する検討委員会からも「集落支援員の活用」の提案があった。どのように考えているか。

A 集落支援員は、採用している自治体への聞き取り、視察をして現状の把握に努めてきた。今すぐに支援員制度の活用とはならずとも研究は続けていきたい。

Q 以前は、山形村の地域コミュニティは公民館の分館活動が担っていた。

A これからの新しい公民館の本館・分館活動のあり方を検討したらどうか。

A 公民館活動のあり方研究は、以前から進めてきてはいるが、今後も具体的な活動の実践について研究を進める。

防犯カメラ設置条例の必要性は

長 条例などの法規整備の必要性も考えられる。今後研究したい



春日仁議員

Q 村で管理している防犯カメラの場所・台数は？また、人権に配慮し設置されているのか。

A 現在20台あり、全て小学校・保育園・役場等の公共施設に設置されている。各施設の敷地内を撮影しているため、近隣の民家などを撮影しているものはない。

Q 防犯カメラの設置に関する条例の制定が必要だと思うが、村長の考えは。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種への準備は

長 1週間に2日間の計算で接種していくと、接種率70%とした場合、接種開始から約5.5カ月かかる



百瀬章議員

Q 65歳以上の接種対象人数、基礎疾患などがある65歳未満の対象人数及び16歳以上の対象人数は。

A 令和3年1月1日現在、65歳以上の接種対象人数は2、439人基礎疾患を有する65歳未満の対象人数は、推計で546人、その他の16歳以上の対象者の人数は4、452人となる。

Q 接種に際して申し込み方法などは。

A 住民の方々が安心して暮らせるよう、プライバシー保護の点からも公共の場所に向けられた防犯カメラの適正な設置や運用に関して、条例などの法規整備の必要性も考えられるので、今後研究していきたい。

Q スカイランド周辺に新たな魅力を加えて集客力を上げる整備などに、指定管理制度を取り入れてみてはどうか。

A スカイランドきよみずを軸に新たな魅力を加えて集客力を上げる手段が一番効果的ではないかと考えている。指定管理制度については、スカイランドの指定管理者との業務が重複することもあり、投資を集中させる意味でも考えてはいるが、提言の一つとして今後の参考にしたいと思う。

Q ICTの利活用の進捗は

A 全国共通の接種券を各人に送付し、専用のホームページからオンラインで申し込むか、専用電話を設置するので、そこから予約してもらおう。

Q マイナンバーカードについては、今はまだ普及段階だが、マイナポイントの創設などで認知度や交付率は向上している。しかし、機器や技術の準備などの経費や、特定個人情報利用と管理にあつては、職員の育成、厳重な維持管理体制の拡大など、大きな負担になることが多く、独自施策の展開を検討するまでに至っていない。

押印の必要をどのように見直すのか

長 優先度を勘案しながら、法律や制度上の矛盾を生じないよう慎重に準備する



議員 恒夫 野入 竹

Q

「地方公共団体における押印見直しマニュアル」の概要が内閣府より令和2年12月18日に出ている。それによる

と、デジタル時代を見据えたデジタル・ガバメントは国と地方が二人三脚で、取組を進めることによって大きな効果を発揮するが、特に、住民に身近で多くの手続の窓口となる地方公共団体が果たす役割は大きい。これまで押印見直しに取り組んだことのない地方公共団体に加え、見直しを行なった経験のある団体においても、更なる押印の見直しを依頼。国が進める押印・公印廃止の動きを受けて、より効率的でスムーズな村民サービス提供のために、押印の必要性をどのように見直すのか

A 現在各省庁や県では、押印廃止に関する所管の法律の改正やそれに伴う例規の整備改正が個別に行なわれている。村でもまずは、村独自で判断できるものと、そうでないもののすみ分けと、公印・私印ともに押印の必要性の見直しを行なうことが必要と考える。また、山積みする他の課題や進行中の事業もあるので、そちらとの優先度を勘案しながら、法律や制度上の矛盾を生じないよう慎重に準備する。

その他、行政事務のデジタル化について質問した。

新型コロナウイルスの今後の対策は

長 ワクチン接種等、必要性を十分精査したなかで取り組む



議員 敏裕 小出

Q

実施済みの新型コロナウイルス対策の総括と今後の新規対策は。

A

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（約2億2千2百万円）を財源とした支援事業等を行なった。今後は、ワクチン接種や新生活様式への対応等、必要に応じて取り組んでいく。

Q

ワクチン接種の計画は。

A

保健福祉センターで集団接種を計画している。65歳以上の高齢者から接種を開始する。

ますます重要になる人口対策は

村長 若い世代に魅力ある支援を



議員 三 禎 新居

Q

コロナ禍の今、都市部では地方への移住の関心が高まっているが、問い合わせはどのような状況か。

A

今年窓口に訪れる来庁がない分やや減少しているが、山形村をどう知ってもらおうか、大きなチャンスでもあると捉えている。

Q

村の知名度を上げ、より広く周知できる情報発信をどのように考えているか。

始するが、開始時期は未定である。

Q

ワクチン接種の課題は。

A

事前予約が必要なこと、高齢者の移動手段の確保、接種会場での密の回避などがある。

Q

超低温冷凍庫（デュープフリーザー）の設置場所と管理体制は。

A

保健福祉センターのワクチン管理専用室に設置する。管理体制は、現在検討中である。

Q

ワクチン接種による副反応への対応は。

A

接種後15〜30分の経過観察を行ない、体調不良時は、医師の指示に従い対処する。

その他、清水高原を観光資源について質問した。

A

山形村の知名度が低いことは認識している。今後知名度を上げることは重要と捉えており、SNSなどオンラインを活用した情報発信やイベントなどを積極的に活用し、より効率的な方法を研究していきたい。

Q

人口対策としての移住定住推進のため、どのような施策を考えているか。

A

若い世代や子育て世代に魅力ある支援策を検討しているほか、山形村での暮らしを体験していただけるような「移住お試し住宅」についても研究をしている。早急に具体的な施策をお示しできるように準備したい。

**正規保育士の増員と給料アップを
計画的に採用し、処遇改善も検討したい**



大池 俊子 議員

Q

コロナ禍で親の働き方も変わり、早期延長保育利用者も急増。正規保育士は早朝から延長保育への長時間対応も

大変であるが、正規職員を6割に計画的な増員をしては。

A

2百40名の園児を、10名の正規と5名の月額給の会計年度任用職員が担当。未満児は更に7名の時間給会計年度任用職員が園児の担当制のもとで保育補助を行なっている。正規の割合は45%である。

山形村でも人口減少が緩やかに進んでいるが、特に未満児保育ニーズが高まり、園児数

**山形村の農業が活発で余裕のある農業を目指して
10年20年先の村の農業について協議する場を**



上條 倫司 議員

Q

農業関係者組織で構成する長期的な協議できる組織についてどう考えているか。

A

現在農業関係の各組織は個々に活動しており、定期的に課題を共有し情報交換をする場は特に設けていない。問題が発生した際には、事務局サイドで連携をし、その都度対応をしているというのが現状だ。

山形村は農業を基幹産業として発展してき

は大きくは減少していない。保育士不足は重要な課題であり、来年度も1名新規採用を予定している。今後も計画的採用をしていきたい。併せて、保育士の働き方改革を進めるためのICTの導入も研究したい。

Q

処遇改善で給料アップの計画は。

A

給料体系は全ての職員について初級職での採用となっている。近隣市村では保育士の採用を中級職で募集しているところもあり、基本給で低額の場合もあり、応募者が少ない一つと考えられる。処遇改善についても検討したい。

その他、生活保護申請の実態及び扶養照会、福祉施策と高齢者支援の充実についてを質問した。

た。長芋、スイカ、ネギ、りんごなど多品目の農産物を栽培しており、県下有数の野菜生産地となっている。しかし農業者の高齢化や後継者の不足、また労働力不足など様々な課題が生じてきている。議員の言われるとおり、各組織で村の抱えている問題を共有・情報交換をして、10年20年先の村の農業について協議をする場を設けることは、大変有意義なことだと思う。長年村内で農業に携わってきているベテラン経営者の皆さまからもこうした現状を危惧し提言もしている。様々な連携の可能性も念頭に、各組織の代表と相談しながら、必要に応じて検討したいと考えている。

4月13日～15日 臨時議会

基本戦略は「人口減少対策」と「行財政対策」

政策的・肉付け予算：1億6千243万円 可決

政策的な予算を補正する「肉付け予算」が4月13日開会の臨時議会で提案説明が行なわれ、14日各常任委員会の審議を経て15日の本会議で可決された。

新たに盛り込まれた「主要施策」と予算額は下記のとおりです。

- ① 山形村に新たに家を新築され、要件に該当する方に「住まいる奨励金」 【1,000万円】
- ② 連絡班に加入された世帯向けに「記念品支給制度」のコミュニティ振興事業 【20万円】
- ③ 防災行政無線 自動転送放送システムの構築 【460万円】
- ④ 保育園「遊戯室」のエアコン設置費用 【1,277万円】
- ⑤ 村と信州大学による連携で、学習支援を行う「やまがた未来塾」の開設 【100万円】
- ⑥ 「複合施設」建設検討委員会の設置 【19万円】
- ⑦ 行政改革推進委員会の復活再スタート 【7万円】 等々

キャッチボール

私の一言

こんな村になってほしい

(上竹田) 山形小学校児童会長

加藤 瑠奈



私が、山形村にこんな村になってほしいと思うことが3つあります。

1つ目はお店が増えてほしいということです。

「グルメ通り」のようなおいしい食べ物屋さんがある場所ができたり、レンタルビデオやレジャー施設ができたらお客さんがたくさん来てくれると思うからです。

2つ目は緑のあふれる環境です。この前すごい砂嵐があり、ニュースでも放送されました。私は、防砂林を作ったり、道に並木を植えたりすれば少しでも防ぐことができると思います。さらに、景色もきれいになるのではないかと思います。並木や公園には子どもたちと植物を植えるイベントを行なったらさらによいのではと考えました。

3つ目に自然を楽しめる提案です。キャンプ場があったり、道祖神を祝うようなイベントはどうでしょうか。村には多くの道祖神があります。細い道もあるので、村のレンタル

自転車があれば、まわってみようという人が増えると思います。また、自然の中で楽しむことがブームになっているので、よいのではないかと思います。

このように、お店でも楽しめて、自然も楽しめるような村になれば、自分たちも楽しめるのではないかと思います。

社会の一員として

主体的に活動したい

(上竹田) 鉢盛中学校令和3年度生徒会長

丸山 直生



鉢盛中学校令和3年度生徒会長の丸山直生です。鉢盛中学校生徒会は今年度SDGsを生徒会に取り入れます。その世界的な目標を生徒会に取り入れることで、一人一人が社会の一員であることを自覚し、主体的に活動していきたいと考えています。SDGsには「すべての人に健康と福祉を」という目標があります。そこで、鉢盛中学校でも地域の方が気軽に参加でき、環境にも配慮した活動をしようと考えています。この活動を通して、地域の方と中学生との距離が縮まり、また地域の方が足を運びやすい学校にしたいと思います。そのためには中学生が挨拶を積極的に行ない、村内で誰もが気軽にあいさつのできる暮らしやすい村にしていきたいです。



編集後記

昨年初めから我が国でも猛威を振るい始めた新型コロナウイルスですが、未だ収束のめどはわかりません。

この間、私たちの生活も変えざるを得ず、大人数の集まる村の行事も多くが中止されました。また、会食の際にマスクを外すので飲食店へ行く機会も減るなど色々などところに影響が出ています。

議会でも、視察や研修でテレビ会議などリモートを取入れ「新しい生活様式」で多くの人と接する機会が減りました。

村政は、本庄村長2期目がスタートしました。一日も早く感染症が収束してマスクのない生活に戻り、活気のある村づくりができることを願うばかりです。

(新居禎三)



発行責任者

議長 三澤 一男

議会広報編集特別委員会

委員長 上條 倫司

副委員長 小林 幸司

委員 春日 仁

委員 新居 禎三

委員 大月 民夫

委員 福澤 倫治